

「地域金融推進レポート'22」のポイント

(頁は「地域金融推進レポート'22」掲載ページ)

「地域金融推進レポート」の概要

毎年、県内中小企業に金融に関するアンケート調査を実施し、調査結果による地域密着型金融推進の取組状況の現状把握と評価を目的としている。(平成20年度から実施、今回15回目)

ポイント1

メインバンクに対する評価・中小企業の現状
⇒ 2~8頁

- 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の総合満足度は67.4点（昨年度68.0点）。
 - 個別項目別満足度は、融資関連項目が低下。
 - 融資又は条件変更の謝絶経験があると回答した中小企業の割合は8.9%（昨年度3.7%）。
- ・ 過去5年間の総合満足度（67.5点~68.0点）と比較するとやや低下。
 - ・ 昨年度より融資に関連する項目の満足度が低下している。
 - ・ 融資や条件変更の謝絶経験割合は昨年度より上昇している。

ポイント2

相互理解への取組状況
⇒ 9~16頁

- 金融機関（メインバンク）に情報提供（決算の概要、業務の状況、将来見通し、業界動向等）していると回答した企業は昨年度より増加。（63.1%→63.6%）
 - 試算表、資金繰り表、事業計画書を作成していると回答した中小企業の割合は昨年度より減少。
- ・ 試算表、資金繰り表、事業計画書の作成割合は、昨年度に比べ低下している。一方で、業績が上向きの企業ほど試算表等の作成割合が高い傾向にある。引き続き、試算表等の作成を事業者側に提案することや、作成支援を行うことが必要となる。

ポイント3

原油価格や物価の高騰、原材料や部品等の供給不足
⇒ 17~18頁

- 原油価格や物価の高騰、原材料や部品等の供給不足の影響について、大きな影響ありが44.3%、影響ありが43.9%。
 - 金融機関に対しては、融資や条件変更等の資金繰り支援だけでなく、売上拡大や経営改善についてのアドバイスや、助成金等についての情報提供など、様々なニーズが寄せられている。
- ・ 9割近い事業者が影響を受けていると回答している。
 - ・ 金融機関に対しては、資金繰り支援にとどまらない様々な支援が期待されている。

提言

コロナ禍を克服した先を見据えた中小企業と金融機関との一層のコミュニケーションの深化

⇒ 19頁

- ・ 現状：コロナ関連融資が落ち着く中で、金融機関に対する満足度が低下しているほか、謝絶経験割合が上昇している。
- ・ 未来：相互理解を深め、関係機関が一体となって経営支援等に取り組み、コロナ禍のほか物価高騰や原材料供給不足等の課題を乗り越え、地域経済の早期回復を図る。